## (2) 普通科外進生(2年C~G組)の取組

修学旅行は関西広域を範囲として実施したため、2日目の班別研修は神戸を出発し京都まで班で移動し、3日目は京都市内を散策するという活動となり、テーマを設定し、複数の地域を比較調査することができた。そのため、興味関心に基づく分野ごとに下表のようにコースを設定し、事前学習・当日の班別研修・事後学習は、このコースを基盤に班を編成し活動を行っていくことにした(資料12)。

資料12 修学旅行コース一覧

コース名	A 歴史	B 産業	C 地理·自然	D 芸術	E 文化
キーワード	人物・史跡	伝統工芸	地形・植物	建築・庭園	言語・文学
	近代・戦争	産業	環境	美術工芸・映画	宗教・行事
	世界	ハイテク産業			芸能•伝説
		衣食住			

実際の班別研修の計画については、コースごとの興味関心に沿って明らかにしたいテーマを決定し、それに関連する問いを作成し、その問いへの答えを明らかにするためにどのような見学地を選べばよいかを調べた。本年度の場合は、新型コロナウイルスの影響で本当に行けるかわからないまま、事前学習や班別研修計画を立てなければならず、また施設・体験の予約も直前にならないとできなかった点が例年と比べ、困難な点であった。

さらに、修学旅行中も三密を回避せねばならず、例年のような形で班長を集め連絡することが難しかったため、「G Suite for Education」の「Google Classroom」を活用し、オンラインでの情報共有や連絡を行った。具体的には、班長会議の代わりに動画を配信し、その動画を見て、出席確認の代わりに「Google Forms」でコメントを送信させた。しかし、この方法では一方通行の連絡となってしまうので、双方向の情報共有とするために班別研修から帰館時に「Google Forms」でアンケートをとって、そのコメントを「Google ドライブ」で共有し、動画内で紹介するようにした。

昨年度から、語学研修と修学旅行にかかる探究活動の発表会を合同で行うこととした。 修学旅行の発表については、主に高校1学年生徒と保護者、外部の有識者が参観する。昨 年度は旅行プランの作成というコンセプトでポスターセッションという形式をとり、12 月19日に普通教室で発表を行った。

本年度は主に聞き手である高校1年生の心にいかに響く発表ができるかに主眼を置く創造的プレゼンテーションができるように、次の3点に焦点をあてて指導をすることにした。 ア メインメッセージを決めて、内容はそれにそったものに絞る。

- イ 誰に向けてのプレゼンテーションなのかを意識し、その人が納得できるような魅せ 方を考える。
- ウ このプレゼンテーションで聞き手がどうなることが理想なのか、そのイメージを持つ。

この3点を指導するために、慶應大学 SFC が作成したプレゼンテーションパターンカードを、プレゼンの構想時、ブラッシュアップに使用した。また発表方法については、これまで高1の校外学習でポスターを作成、「千葉市創生プロジェクト」でスライドを作成するなど、発表方法をある程度指定して行ってきた。これは、アカデミックリテラシーとしての発表方法をまんべんなく身に付けるためである。それらの活動の経験を踏まえて、今回は自分たちの発表したい内容・伝えたいことに応じ、方法は工夫することとした。

## (3) 国際教養科(2年 I組)の取組

語学研修の中止に伴い、本年度は例年と異なる内容で探究活動(リサーチプロジェクト)を実施した。各班は特に関心のある目標を選び、日本と外国の状況と、それぞれの国で行われている対策を調べ、12月19日に英語で発表を行った(資料13・14)。

また、発表準備過程では、千葉大学教育学部に在学中の留学生8名から定期的に指導・助言を受けた(詳細はp.50の事業3「国際交流」を参照)。

## **資料13 各班の概要**(提出された概要説明より。先頭にあるのは各班のグループ名。)

## Group Meteolojinx

## テーマ 日本でSDGsの認知度を上げよう

研究概要

SDGsの17番目のゴール、「パートナーシップで目標を達成しよう」で日本の達成度が低いことに着目し、SDGsの認知度を上げればゴールをすべて達成できると考えたため、4つの国(ノルウェー、フランス、デンマーク、スイス)と日本の現状を比較して、解決策を考えた。それぞれの国で達成されている項目には、それぞれ法律が定められており、それに付随して国民の高い問題意識があった。また、日本では、一部の地方自治体でキャンペーンが多く開催されていた。結論として、広報活動を日本各地で行い、個人が日本の現状を知って行動を起こすことが必要だという結論に至った。

## Group Happy Lucky Love Smile Peace Dream テーマ 外国人労働者の受け入れについての比較

#### 研究概要

日本の経済発展のために必要不可欠な外国人労働者が、世界の国々ではどのように受け入れられているかを知ることで、持続可能な発展を続けるにはどうすべきなのかを知ることを目的として、ドイツと韓国を比較した。この2国を選んだのは、2国と日本が同等の経済力を持っているのにもかかわらず、日本と2国の受け入れ状況は大きく違い、2国から学べる点が多くあると考えたためだ。比較するポイントは、権利、教育、コロナの影響といった現在の状況、外国人労働者に対する考え方、政策の3つである。結果として、日本は、2国に比べ後進的であり、改善すべき点が多くあることが分かった。

## Group Chimichanga

## テーマ 日本の食品ロス問題の現状と解決策

#### 研究概要

世界では3分の1の食品が捨てられており、今日の日本もそれに大きく加担している。未使用食品の廃棄は経済・環境に悪影響を与える上に、何よりも非常に勿体ない。もしこの現状を改善すれば、4台に1台の車を、世界から排除するほどの二酸化炭素を削減できることにつながるのだ。そこで、日本と、先進的な良い食品ロス対策を行うイギリスを比べる中で、必要なことが2つあるとわかった。それらは、「もったいない食料」を減らすために、「捨ててはならない」ではなく「捨てたくなくなる」解決策、そして、国民の問題意識向上である。そのために全国民、企業が参加出来るアプリケーションが必要だと考え、提案する。

#### Group Shining JK

## テーマ 他国から学ぶ国内の人種差別解決法

## 研究概要

2017年法務省「外国人住民調査報告書」によると、在留外国人の約40%が居住を 拒否された経験があると答えた。これまで日本は島国であり、外国人との関わりが少な いとされていた。しかし、グローバル化が進むと共に、そのような人種差別は今後より浮 き彫りになると考えられる。日本は人種差別に対する取り組みが他国よりもない。そこ で私達は、今回の研究から「①差別による犯罪を取り締まる法律を制定②交換留学生の 数を促進③国の代表者による日中韓の関係性を改善」この3つを実行し、国として国民 の意識を変える必要があると考えた。

## Group Acerola dreamy

#### テーマ LGBTQ

#### 研究概要

LGBTQ+といった性的マイノリティーの人々が日本、韓国、スウェーデンそれぞれの国の中でどのように扱われ、またどのような権利を持っているのかを調査した。韓国や日本で同性婚が認められていないのに対し、スウェーデンでは同成婚が認められているだけでなく、特別な教育カリキュラムが組まれているなど、取り組みが盛んであった。それに加え、労働環境でも3か国の中で違いがあった。性的マイノリティーに対するこのスウェーデンの状況の背景にあったのは、NGOやNPOなどの積極的な政府への働きかけであり、日本の状況の改善にはそうした活動が必要であると考えた。

#### Group Submarine Sandwich

## テーマ 海洋プラスチック問題

#### 研究概要

世界中で年間800万トンものプラスチックゴミが海に流れ込んでおり、2050年には海洋プラスチックごみの量が、海にいる魚の量を上回ると予測されている。この深刻な問題を改善するために、日本とEUがそれぞれどのような対策やキャンペーン活動を行っているのかを調査し、比較を行った。類似点が多くあったものの、日本は使い捨てプラスチックに対する規制がEUより緩いことがわかった。また、多くの日本人は海洋ゴミに対する関心がある一方で、国の政策についてはよく知らないということがわかった。この問題を解決へ導く為には国の政策を把握し、一人一人が意識して行動を変え、一丸となって取り組んで行かなければならない。

#### Group POI ∼Thank you, Chair Person∼

#### テーマ 多文化共生社会に向けて日本がどのように準備していけばよいか

## 研究概要

日本は現在、重大な少子高齢化に伴う労働者不足の危機に瀕している。その対策として、海外からの移民労働者の受け入れが行われているが、日本は果たして移民を受け入れる準備が整っていると言えるのだろうか?移民を受け入れるということは同時に、日本国民にあまり馴染みのない、宗教を含む多種多様な文化が日本に混在するようになるということだ。移民流入が著しい欧米諸国では連日、宗教問題、テロ、経済格差等様々な

問題が報じられている。我々は、海外諸国での移民問題、その対策と効果を調べ、それらから日本で今後起こりうる問題を予測し、多文化共生社会に向けた適当な対策モデルを提示する

# Group Big Turnip

## テーマ 持続可能な町づくり

#### 研究概要

生活の質を保つことは、人間なら誰もが望むことである。日本では当たり前のように必要最低限度の生活は保証されているが、世界の多くの場所ではそれらが特別なものであったりする。そこで私たちが着目したのが、3ヵ国におけるスラム街に住む人々の生活だ。ブラジルでの高い犯罪率と暴力、ソーシャルディスタンスがしたくてもできないインドでの密と労働者の生活、比較的治安が良いと言われる日本にある数少ないスラム街での貧困などを調べた。それぞれの国には異なる問題が存在するが、住む場所や環境は違っても、私たちと同じ人間であるスラム街の住人たちの暮らしを保証し、彼らの生活を改善するにはどうしたらいいのか考えた。

## グローカルプレゼンテーション(発表会)の様子(令和2年12月19日実施)





## 21 Research Project

## The Purpose of the Project



- 1. By knowing how Japan and another country tackle global issues,
  - you will ① understand the countries better through a variety of perspectives
    - 2 become aware of existing global issues
    - ③ think about the solutions to local/global problems
- 2. You will be able to write research paper and give a presentation in English.

## What You are Going to Do

Basically, what you are going to is the same as the previous plan. What is different is that you will choose one country to compare with Japan, and it doesn't have to be America or Canada.

Here are some more details about what you are going to do;

## (1) Brainstorming

You will discuss and decide the topic for your research with your group members.

This will be you research question.

## (2) Research about the Topic

You need to get a lot of information from outside sources.

- (3) Writing the Research Paper
- (4) Presentation

You will make a presentation about what you have learned through your research.

## Yearly Schedule

	What to do	What to submit	
July	(1) Brainstorming	Group Outline	
August	(2) Research about the topic	Individual Report	
		Reference List	
September	(3) Writing the Research Paper	Research Paper ★10/31	
October			
November	(4)Presentation	Presentation ★12/19	

## Research Paper (Format)

The format will be as follows;

#### 1. Introduction

Tell the readers what the topic is and what the writer will do about it. Also, explain why it is worth learning.

## 2. Body

Write the main points and give information about each main point.

Each paragraph must have a topic sentence, reasons, examples, explanations and data.

## 3. Conclusion

Remind the reader of what you have learned in the paper.

#### 4. Reference List

List the sources of the information in the paper.

## **Outline Example**

Attempts to Reduce the Amount of Plastic Bags: Examples from Japan and Germany

- 1. Introduction
- 2. Background to the issue of plastic bags
- 3. Cases of Japan
  - 3.1. Legislation
    - 3.1.1. Companies
    - 3.1.2. Individuals
  - 3.2 Customer Behavior
- 4. Cases of Germany
  - 4.1 Legislation
    - 4.1.1. Companies
    - 4.1.2. Individuals
    - 4.1.3. Education
  - 4.2 Customer Behavior
- 5. Conclusion

## (1) Brainstorming - Decide your research question -

## Research Areas

You will think about global issues with <u>Sustainable Development Goals (SDGs)</u> in mind. for more information about SDGs, check

・国際連合広報センター

https://www.unic.or.jp/activities/economic\_social\_development

/sustainable\_development/2030agenda/

・SDGs (持続可能な開発目標とはなにか?)朝日新聞

https://miraimedia.asahi.com/sdgs-description/

STEP1

Think of as many global issues which are relevant to each SDGs as possible.

→Use Worksheet ① for brainstorming and list the global issues as examples show.

STEP2

Think of the goals/issues that you're particularly interested in.

Choose the goals/issues that you are naturally curious about and that you are cable of effectively researching in multiple countries. Then, use them to make your research question. The examples are as follows;

- · How are the three countries dealing with water pollution?",
- "What do people in the three countries do to improve work-life balance?"
- "How are schools responding to COVID-19 to maintain the quality of education?"
- "How do people learn peace and justice?"
- "How much are people aware of climate change and what do they do to fight against it?"
  - → Use <u>Worksheet①</u> for brainstorming.

STEP3

- Do some research on the research questions that you have made.
- → Use Worksheet① and write in the section what you have learned so far.

STEP4

- Share your ideas with your group members and decide the **research question** of your group.
  - → This will be what you are going to do next time in class!!

## Research question must

• Start with a "question word"

(How/What/Why/Which/When/Who/Do/Are) and end with question mark.

- be something important for not only you, but for us all as high school students or human beings.
- be something you can realistically and effectively research on.

# SUSTAINABLE GEALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



































STEP1 Think of as many global issues as you can which are relevant to each goal.

- 1. NO POVERTY
- ex) education, access to clean water, the number of homeless people, fair trade
- 2. ZERO HUNGER
- 3. GOOD HEALTH AND WELL-BEING
- 4. QUALITY EDUCATION
- 5. GENDER EQUALITY
- 6. CLEAN WATER AND SANITATION
- 7. AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY
- 8. DECENT WORK AND ECONOMIC DEVELOPMENT
- 9. INDUSTRY, INNOVATION AND INFRUSTRACTURE
- 10. REDUCED INEQUALITIES
- 11. SUSTANABLE CITIES AND COMMUNITIES
- 12. RESPONCIBLE COMSUMPTION AND PRODUCTION
- 13. CLIMATE ACTION
- 14. LIFE BELOW WATER
- 15. LIFE ON LAND
- 16. PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS
- 17. PARTNERSHIPS FOR THE GOALS

STEP2 Think of the goals/	issues that you're particularly interested in and make research
questions.	
Idea① SDGs Goal	
Issue you are interested in	
issue you are interested in	
Brainstorming	
Research Question	
Why your research guestion	
Why your research question is important for us all	
is important for as an	
What you have learned	
through researching this	

## (4)「Glocal High School Meetings 2021」について

本年度は12月に行われる東京国際フォーラムでの全国高校生サミットへの参加予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止が決定された。その後、名古屋石田学園星城中学校・高等学校が中心となってグローカル型指定校でオンライン上の発表会として、「Glocal High School Meetings 2021」を実施することとなり、本校からは高校2学年の国際教養科の有志班が英語部門に参加し、リサーチプロジェクトの内容を発表した(資料15~17)。結果は銅賞に入賞した。英語の発表を当初想定しており、また学校行事の時期と今大会の時期が重なっていたため、国際教養科から発表班を出すことになったが、本校の取組内容は本来の趣旨である「グローバルな視点を持って地域課題の解決に挑む提言や実践」を発表するという内容に必ずしも沿っていないという困難さがあった。また新型コロナウイルス感染症の影響が強い都市部(特に首都圏)では、本事業を行うこと自体に制限が多かった1年であり、そうした地域差も最終的な結果に大きく出たと思われる。しかし、発表を行った生徒たちは、意欲的に準備を進め、動画発表の投票時には、他校の生徒に対して英語を交え、様々な質問を行っていた。他校の意欲的な発表を視聴することによって、大いに刺激となる部分も多かったに違いない。来年度はどのような形で行うかはわからないが、どの学年が参加するかも含めて再度検討していきたい。

## 資料15 本校発表班の発表要旨(英語)

Title: How Can Japan Be a Multicultural Society?

Abstract:

1 Purpose of the study

Can you imagine Japan as a multicultural society? Now, Japan is facing an aging society. According to 100BANCH, a labor shortage of 6.44 million workers will happen by 2030. Japan needs to accept more immigrants to sustain the Japanese economy. Thus, the government plans to increase the number of foreign workers as one of the countermeasures. Actually, there currently are 1.65 million foreign workers in Japan. Moreover, since Japan will hold the Olympics in the near future, it's predicted that more and more foreigners will come to Japan. However, Japanese society is not ready to accept them. According to Okayama University, there were about 7,000 international students from countries which mainly practice Islam in Japan, and these students reported difficulties finding food they can eat and places of worship. This report shows that Japan is facing issues caused by religious differences. These differences could potentially grow into conflicts in the worst cases. Some countries have already faced similar situations, and are trying to solve them or prevent them by introducing or improving policies. These precedents are a good opportunity for Japan to get ready for the future. This paper proposes solutions and a model idea so that Japan can prepare to become a multicultural society.

#### 2 Specific Issues Expected to Occur in Japan

International students were interviewed and asked about the difficulties they face in Japan. After hearing about the problems in Japan, extensive research was conducted on the Internet.

Lack of Halal Food

There are only 80 companies in Japan which have licenses to provide Halal food, the only type of food allowed under Islamic laws and customs. Thus, it is difficult for Muslims to find food they can eat in Japan. Additionally, Muslims need specific ingredient listings for everything they eat because they need to know whether pork has been used, but ingredient labels in Japan are not required to provide such detailed information.

Lack of Mosques

Another problem for Muslims in Japan is having difficulties finding places of worship. There are only 105 mosques in 36 prefectures in Japan. It means there are still some prefectures which do not have places for Muslims to worship. Mosques are needed to perform ablution, the act of washing the body before praying. Muslims also have difficulties praying during day time or outside the home.

## Education

In addition to the examples mentioned above, problems are also likely to happen in schools. School trips to religious sites in Kyoto, short-sleeved uniforms, and non-halal school lunch menus are all likely to produce conflict.

## 3 Foreign Countries' Policies

Problems related to immigrants in 5 countries (US, UK, Canada, France and Germany) were analyzed. Religious conflicts are currently happening in Europe which has had increased immigration in the past years. For example, according to Wireless Wire News, one of the reasons for the "Brexit", the withdrawal of the United Kingdom from the European Union, is the rapid increase of immigrants. This report will focus on the problems and policies taken to solve them in these five countries.

#### Germany

The former West Germany suffered a labor shortage due to its slow postwar population growth and the large number of war deaths. The government started to accept foreigners as workers. Most of them received low wages, worked hard to send money home, and did jobs that the Germans didn't want to do. However, after increasing the number of

immigrants, Germany faced a lot of problems such as income and educational background gaps, as well as language barriers. These issues led to a vicious cycle widening gaps even more between Germans and immigrants. The government started social integration by introducing compulsory lessons in German language, German society, and history.

#### 4 Conclusion

Japan's present and Germany's past have three points in common: inviting foreigners to compensate for a lack of labor force, the historical background of defeat in World War II and the government not recognizing immigrants as regular workers.

Thus, Japan can learn a lot from Germany. What Japan needs is social integration by offering compulsory education in Japanese language and history as Germany does. This is necessary to eliminate the gaps between Japanese and foreigners. This also includes reducing economic disparities. As for religious issues, the "order to conform" of Japan is apt to invite backlash against other religions. The country may be able to say that foreigners should adapt to Japan's basic lifestyle, but Japan should also have more flexibility to adapt to foreign perspectives and customs. These issues shouldn't be dealt with on a site-by-site basis, but should be tackled as a whole. In order to ensure mutual prosperity and coexistence, it will be necessary to recognize immigrants as regular workers and take measures in two steps, education and economy, in order to reduce gaps and peacefully prevent religious issues.

資料16 本校紹介スライド(令和3年1月30日)





